

四国山の日 in えひめ 2010

～四国の森づくりで 未来の命を吹き込もう
そして感じ伝える大地の鼓動～



平成22年10月16日(土)・17日(日)



四国山の日
11月11日は四国山の日

四国の森づくり実行委員会

(四国森林管理局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国の森づくりネットワーク)

えひめ森林ボランティア連絡協議会

メイン行事：平成22年10月16日(土) プログラム

場所：久万高原町産業文化会館

時間	内 容
12:30	開 場
13:00	開 会 プロローグ 久万山五神太鼓 挨拶 表彰式
14:00	こども演劇 「大切な森林-Meg from the star-」 子ども英語演劇サークル きっずどらまくらぶ
14:30	活動発表 小学生：東温市立西谷小学校 西谷緑の少年隊 高校生：愛媛県立上浮穴高等学校 森林環境科 大学生：愛媛大学農学部農山漁村地域マネジメント特別コース 企 業：アサヒビール株式会社 松山支社 森林ボランティア等(四国山の日賞受賞団体)： 徳島県美馬市立 江原中学校(徳島県) 讃岐富士クラブ・森林ボランティア部(香川県) ボランティア やろーぜ(愛媛県) ばうむ合同会社(高知県)
16:00	講 演 「久万林業と自分史の中の林業経営」 愛媛県指導林家 梶川 二郎氏(久万高原町在住)
17:00	閉 会

プロローグ (久万山五神太鼓)

ときは群雄割拠の戦国時代、今から約400年前、ところは、伊豫・土佐両国の国境(現在の久万郷)。久万山大除城主の大野直昌は、土佐方に包囲され滅亡の危機に陥っていました。その時、直昌公は神のご加護を得んと、守護神・ダイバの仮面を小姓衆に付けさせ、太鼓・樽を一斉に打ち鳴らし神に奉じました。願い、祈りは天に通じ、空はにわかにかき曇り、時ならぬ夕立襲来を呼んだのです。この機に乗り久万山方は、土佐方の一瞬のすきをつき一気に打ち出し窮地を脱したと伝えられています。

以来、直昌公の氏神に対する感謝・崇拝の念は益々厚く、魔除先達の神としてダイバの仮面をつけ太鼓を打ち鳴らし、久万山五神の神々に感謝のまことを捧げたと伝えられています。打ち方は、柔らかく、鋭く、力強くをモットーに各人おのおのの自由演技の真髓を通して、見栄を切り、強く激しく打ち切る所がこの太鼓の最大の見せ場となっております。



表彰

平成22年度「四国山の日賞」受賞団体

I 多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進

●讃岐富士クラブ・森林ボランティア部（香川県）

飯野山（讃岐富士）での登山道周辺の森林整備を実施し、保育所の幼児を対象とした飯野山登山のサポート等を実施しています。

●柳谷壮年会（愛媛県）

久万高原町柳谷地区で、「ヤマザクラの里」を目指し、平成45年までに5万本を目標にやま桜の植栽、下刈等を実施しています。

●安芸市森林を考える会（高知県）

個人や一般企業、農協、漁協等様々な団体等が参加して、森・川・海が連携した森林整備や地域住民が森林に接する機会をつくっています。

II 木材の利用推進

●株式会社 ビッグウィル（徳島県）

徳島県三好市で、地域の木材（間伐材）を仕入れ加工し、極薄つき板シートを販売しています。極薄つき板シートは、曲面利用や折り曲げ利用など、今まで木材を利用することができなかった用途での利用を実現しました。

●ばうむ合同会社（高知県）

高知県嶺北地域で小中学校向けの学習机のプロデュース及び販売、レーザー加工による木を使った小物等の作成などを行っており、地域材を有効活用しています。

III 森林環境教育活動の推進

●徳島県美馬市立 江原中学校（徳島県）

環境問題の解決に意欲的に取り組み、「ものづくり」を通して勤労観、職業観を持った生徒の育成を目的に、学校林を利用した森林環境教育の中で、生徒たちが、間伐した材を加工してベンチを作り、地域の公共機関に配布しています。

●ボランティア やろーぜ（愛媛県）

えひめ森林公園を拠点に、「森ときのこ」など3種類の手引書を作成し、それをもとに親子森林環境体験教室を実施するほか、他団体と協力して環境体験学習を実施するなど環境教育に熱心に取り組んでいます。

こども演劇(子ども英語演劇サークル きっずどらまくらぶ)

『大切な森林 - Meg from the star - 』

「きっずどらまくらぶ」は、自分たちの子ども時代とは変わってきた、今の子どもの遊び方や子育てを少し変えたいという思いから、2006年に発足しました。

年齢の異なる子供たちが一緒に遊び、地域の人たち皆で子どもを育てていきたい、小さい頃から外国人とふれあい、国際的な視野を広げてもらいたい、という思いで活動しています。

また、演劇を通じて、一つの目標に向かう協調性や責任感を養い、また、自然環境を大切にする心を豊かにするため、よく森をテーマにした演劇を行い、よく野遊びもします。親子みんなで楽しく活動するサークルです。



発表団体 発表要旨(8団体)

東温市立西谷小学校 西谷緑の少年隊

所在地 愛媛県東温市
団員数 43名(4～6年生)

1 活動の目的

緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、自らの社会を愛する心豊かな人間になろうとする児童を育てる。

2 活動内容

① 自然と親しむ活動

○ シイタケ栽培

地域の森林組合の方に指導をしていただきながら、全校児童でシイタケの植菌作業を行い、毎年おいしいシイタケの収穫を喜んでいる。

○ 自然体験教室

PTAと地域・学校が一体となって、月1回(土曜日)活動の場を設け、米作りや木の枝打ち、野草の天ぷらなど自然にかかわる体験を重ねている。

○ ふれあい収穫祭

収穫した新米やサツマイモを使って料理を作り、収穫の喜びを味わった。

② 環境に親しみながら問題点に気付く活動

○ 竹炭作り

竹林の問題を学び、近くの山で伐採した竹で竹炭作りを行っている。

○ 総合的な学習の時間での探究活動

5年生は校区の井内川の水質調査を実施したり、地球の環境問題について調べたりし、そこから自分たちができることに取り組んだ。

③ 環境を守り育てる活動

○ 朝のボランティア活動(全校)

始業前の10分間に朝ボランティアの時間を設け、「緑の少年隊」の隊長の呼びかけのもと、自主的に美化活動や栽培活動に取り組み、「守り・育てる」実践力を付けつつある。

○ 絶滅危惧種の栽培と緑化運動(4・5・6年)

農業高校の生徒とともに、地域の絶滅危惧種に指定されている菊の挿し木を行い、学校や地域に移植するなどの繁殖活動を行っている。

④ 発信する活動

○ ふれあい収穫祭

地域の人や友達に、自然体験活動を分かりやすく紹介した。

○ 学習発表会

環境問題を主題にした劇をしたり、井内川調査の結果を「井内川新聞」にまとめて地域の人に配布したりして活動の様子を知らせた。また、作った「竹炭」をプレゼントした。

3 活動の成果と課題

体全体で自然に触れ合う活動を通して、自然に守られた生活のよさや豊かさを実感し、自然を大切に守っていかうという気持ちを持つことができつつある。また、森と海のつながりを知り、豊かな自然を守るため、身の回りのことから取り組もうとする意欲や態度が育ってきている。さらに、保護者や地域の方との連携・協力体制が強まるとともに学校教育への理解が深まってきている。

4 今後の目標

今後も継続し、より豊かに自然とかかわろうとする実践力を付けていきたい。



自然体験教室



ふれあい収穫祭

愛媛県立上浮穴高等学校 森林環境科

所在地 愛媛県上浮穴郡久万高原町
生徒数 54名

1 活動の目的

森林環境の理解と、持続可能な森林経営を目指した知識・技術を習得し、森林資源及び地域資源の多様な活用を図る実践的、創造的な能力を身につけることを目標としている。

また、森林自然環境の仕組みや、成り立ちを学習し、将来の森林資源を生かした地域産業発展に寄与できる人材になることを目指している。

2 活動内容

- 上浮穴高等学校で、品種改良、選抜を行い、作り出したヒノキ、「神光（かみこう）2号」は、成長が早く、まっすぐに伸びていくことから、住宅材などにも有用とされている。
- 「神光2号」の苗木を、1年次より、実習等の授業等でホギから挿し木を行い、生産を行っている。地域の小中学校との交流会の中で「神光2号」の説明や、本校生徒たちと合同で、ホギの採取、挿し木作業での体験学習を行い、森林保全学習を実践している。
- 町有林一部の管理を森林環境科に委託され、年間に十数回森林に入り、下刈り、枝打ち、間伐作業を行っている。
- 森林環境教育の一貫として、土壌生物・水生生物の調査、野生動物の観察、野鳥やヤマネの巣作りをし豊かな自然環境と共に、生物多様性の保全も行っている。

3 活動の成果と課題

- 本校、本学科を卒業後、30%の生徒が地元に残り、林業関連の職に就くことができた。
- 地域の小・中学生との学習交流会（ヒノキの挿し木体験学習）を通じて、上浮穴高等学校の学習活動の様子や、森林自然環境の仕組み、必要性を伝えることが出来た。
- 高校生で、改めて自然環境を学習することで、生徒たちに豊かな自然・生物を保全していく意識のきっかけをつくることが出来た。

【課題】

- 最新技術・機器の導入が難しく、施設・設備の老朽化が問題となっている。

4 今後の目標

今後も継続して、体験活動や学習活動を行えるようにしていきたい。



枝打ち作業



ヒノキの挿し木体験学習

愛媛大学農学部農山漁村地域マネジメント特別コース

所在地 愛媛県松山市

1 活動の目的

疲弊しつつある愛媛県下の農山漁村の再生を目座すコース。地域に「愛着」を持ち、「課題発見型・解決型」かつ、自ら業を起こす「気概と技量」を持ち合わせた人材の育成を行い、将来「地域マネージャー」として、誇りを持って地域に住み続けられるリーダーを地域へ供給する。

2 活動内容

農林漁家研修では「田村ファーム&フォレスト」へ、農林漁業団体研修では「県森連久万山木材市売場」へ、農林漁業法人研修では「株式会社ニシイチ」へ研修生として学習に入った。各研修は6週間という長い期間の研修であった。しかし、どの研修もあっという間に過ぎ、吸収し尽くせないほど多くの経験をさせていただきました。すべての研修を通して、木材の素材生産から流通までの総過程、及び林業機械の修理や安全な取り扱いについて学ぶことができました。

田村ファーム&フォレストでは、特に農作業を中心に研修しました。その中で久万の農林業の実態を学び、百姓とはいかに優れているか教えて下さいました。

県森連久万山木材市売場では、木材価格の現状から、造材による市場価格の違い、木材の見極め方など細かいことまで学ばせてもらいました。

株式会社ニシイチでは、林業機械について、プロの指導を受けることができました。構造はもちろんそれらの特徴や欠点、教科書にはない故障やトラブルの対応方法などすべてを教えて下さいました。また、人との関わり方や信頼関係の大切さについてを仕事の中で示唆していただきました。

これらの経験を通して、「生の林業」・「百姓としての生き方」を感じることができ、その中で将来の自分に何が必要わかりました。ここで感じたこと、学んだことを将来に活かし、私の大好きな「久万高原町」をどう変えていけばよいか、私がどう行動していくべきか、私なりの未来予想図を描いてみました。

3 活動の成果と課題

各研修によって、私の知らなかった林業の部分を見ることができました。それは、業としての仕組みから林業に携わる関係者・作業者の知識に至るまで色々とありました。

今回の研修で、まずは育林・伐木造材・林業機械についての基本を身につけることが求められており、それが課題であると言えると感じた。また、それらの基本を受け継ぐ者・伝承する者があまりにも少ないと感じた。

4 今後の目標

林業について、あらゆる部分で基本を身につけ、それと同時に、魅力ある林業を展開すること。そして、これにより、将来を担う人材を育成すること。



田村ファーム&フォレスト



県森連木材市場



ニシイチ チェンソーの構造研修

1 活動の目的

アサヒビールが四国で四国工場10周年記念の感謝の気持ちをこめて、地元地域へのお役立ちの為に3年前より「アサヒビール四国の水・森に、感謝。」実施している。

2 活動内容

○ 「四国の水・森に、感謝。」キャンペーン実施の経緯

四国工場操業10周年を迎えるにあたり、10周年を記念として地元にお役立ちできないか、ビールは自然の恵みから作られており、水に感謝しよう！水を育む森に感謝しよう！との思いからキャンペーンを始めた。

○ アサヒビールの環境への取り組み

アサヒビールでは環境への取り組みとして「グリーン電力」の購入と普及の促進、また全ビール工場では廃棄物・副産物の再資源化100%（ゴミゼロ）を達成しています。

○ アサヒスーパードライの対象商品1本につき1円を愛媛の森林基金に寄附

アサヒビールの対象商品の売上1本につき1円を愛媛の森林基金に寄附し、「アサヒビール森林（もり）づくり資金」として緑化樹苗木の配布等にご活用いただいています。

○ 西条市の円山公園を中心に社員が環境ボランティア活動を実施

キャンペーンだけでなく、社員参加のボランティア活動も積極的に行っており、西条市の円山公園での桜の植樹や下草刈り、本年6月には黒瀬ダム湖での環境体験学習会も実施しました。

○ キャンペーンの概要と寄附金贈呈式の模様

第5弾の寄附金6,672,479円は、本年8月に愛媛の森林基金の佐伯理事長様に贈呈いたしました。第6弾は本年の8月下旬製造分から10月下旬製造分までのアサヒスーパードライの対象商品の売り上げ1本について1円が寄附されます。



社員参加のボランティア

3 活動の成果と課題

第1弾～第5弾迄の寄附金の合計20,459,942円

このキャンペーンをもっと多くの県民に知ってもらい、一体感のある活動にしていくこと

4 今後の目標

来年がキャンペーンの最終年になりますが、キャンペーンが終了した後も寄附金という形にとらわれず、環境保全活動を継続していく予定。



寄附金贈呈式



美馬市立江原中学校(徳島県)

所在地 徳島県美馬市

1 活動の目的

- 「森林環境教育」を通した環境問題の解決に意欲的に取り組む生徒の育成
- 「ものづくり」を通した人づくり (勤労観・職業観を持った生徒の育成)

2 活動内容

- ① 森林環境教育として、市林政課及び県普及指導員の方から、手入れの行き届いた森林内において、「手入れの必要性」と「森林の働きの重要性」について学習しました。
- ② 学校林についての事前学習 (本校卒業生による講話)
学校林を植林した卒業生の方々からの講話を聞き、学校林について理解を深めました。
- ③ 学校林の整備 (伐採作業)
生徒や保護者、卒業生、学校評議委員、職員などで、枝打ちや伐採、伐採木の搬出などを行いました。
- ④ 森林から考える環境学習 (炭焼き体験)



森林環境教育



学校林事前学習



学校林整備



炭焼き体験

- ⑤ 間伐材を利用した木工品づくり (ベンチなどの木工品製作) と配布
大工さんの協力をいただき、学校林から搬出した間伐材を使ってベンチなどを製作し、市役所や小学校等の公共施設へ寄贈しました。
- ⑥ 森林学習発表会 (森林学習の成果発表)
美馬市の文化祭にて、森林学習の成果を発表しました。



ベンチ作製



市役所へのベンチ寄贈



森林学習発表会

3 活動の成果と課題

学校の歴史を生徒と共に紐解きながら、森林の重要性を知り、環境問題の解決に意欲的に取り組むことができた。

学習を行っていく中で地域の協力を求める場面が多く、学校での取り組みを地域の方に知ってもらうと共に、生徒自身が自分たちの周りにいる地域の方の力ある存在を知ることができた。

4 今後の目標

学校林についての取り組みをこれから入学してくる生徒達に伝え、実際に間伐を行った生徒に近いレベルで環境問題に取り組む生徒を育成する。

讃岐富士クラブ・森林ボランティア部(香川県)

所在地：香川県丸亀市
会員数：22名

1 活動の目的

里山林の整備と保全を行うとともに、会員の親睦及び地域住民との交流を行う。

2 活動内容

- ① 飯野山(讃岐富士)の登山道を中心に松枯れ跡の天然林の整備
- ② 近隣の保育所をメインに幼児の自然体験サポート
 - 平成18年から年6回程度
- ③ 里山学級(中高年)の山歩きサポート
 - 平成19年度から年6回実施(12月～翌5月まで)
- ④ 飯野山林野監視員を四国森林管理局より委嘱され、年間を通じて登山道を中心に監視、報告、ゴミ拾いをしている。(平成19年より4名が委嘱され、担当をしている。)
- ⑤ その他
 - 林内の樹木名札の作成・設置
 - 頂上広場の草刈り(適時、登山常連者と共同)

3 活動の成果と課題

- ① 森林整備……登山道一合目～五合目迄終了
 - 暗い森が陽光の射す明るい森になり、複層林が形成されてきている。
 - 登山道脇の見透しが良くなり、婦女子も安全安心して登山ができるようになった。
 - 木々の間からの眺めも向上し、登山者に好評で登山者数も急増している。
- ② 保育所の幼児の飯野山登山サポート……平成18年より延べ約1,540名の幼児を自然体験させることができた。大変好評で、実施保育所からは、毎年継続的に依頼が来ている。
- ③ 里山学級の山歩き実技サポート……平成19年度より3期生まで中高年約110名を送り出した。現在、4期生を募集中である。
- ④ 林野監視員……登山者より倒木、落石等危険箇所の連絡、改善依頼等が直接くるようになり、管理局への連絡と対処が早くなった。
- ⑤ 今年より「讃岐富士の日」が地元で制定され記念行事も行われた。(当日参加者約400余名)
『讃岐富士の日』：4月22日

4 今後の目標

- 現状の行為の継続が第一
- 若年層へ広げていくこと
- この恵まれた自然を後世まで永く守っていくこと



ボランティア やるうぜ(愛媛県)

所在地：愛媛県東温市
会 員：19名

1 活動の目的

- 豊かな森づくり（人と森との共生を考慮した森づくり）を目指したボランティア活動を行う。

2 活動内容

「えひめ森林公園」に関係する方々が中心となり、平成16年設立。現在、会員は19名。

活動は、植林、育林作業、森林学習会、環境教育等で、少ない人数にも関わらず積極的に取り組んでいる。

- 環境教育活動（平成17年度～18年度 愛媛県森林環境保全基金公募事業）

これからの森づくりを担う青少年を対象に、森の仕組みや機能を理解し、森づくりの心を育むことを目的とした「森林環境体験研修（親子）」を実施した。2年間で「森林ときのこと」「森林と野鳥」「森林と昆虫」のテーマで都合3回開催し166人が参加した。

- 県民参加の森づくり（きづきの森づくり）事業（平成21年～25年度）

愛媛県が創設した森林環境税を財源とし、新たな森林管理手法の一つとして、県民参加による森林整備を進めていくもので、くみあい船舶株式会社及び愛媛新聞社が共催で主に資金提供者、ボランティアやるうぜ、学生ボランティアが植林などの森づくりを行う。これまで植林約700本と下刈り施肥等を実施した。場所は、えひめ森林公園に隣接する国有林内面積約30a。

3 活動の成果と課題

- 環境教育活動

森の中で活動する際、子供達の目は輝いており、体験研修の必要性を感じた。

このような活動は、学校側との連携が極めて大切である。

- 県民参加の森づくり

今年の植栽地にヤダケが繁茂しており、これの駆除に苦勞している。

一緒に活動している学生ボランティア諸君の力強さを痛感。

4 今後の目標

現在取り組んでいる「きづきの森づくり事業」の整備について今後5年間かけ計画どおり進めていくこと。

そのためには、会員数を若干名増やし、将来、「森林塾の開催」まで活動できるようにしたい。



ボランティアやるうぜ 会員



環境教育活動（野生キノコ探索）

ばうむ合同会社(高知県)

所在地 高知県長岡郡本山町

1 活動の目的

嶺北地域にある資源を活かした商品開発や企画・販売を行い、嶺北地域の経済的な発展に寄与することを目的とする。

2 活動内容

商工会の青年部が中心となり平成17年に木部会ばうむを設立。当初は学習機の販売から始まり、嶺北内の小学校に納入。その後任意団体としての活動を続け平成22年に2月に法人登記。「ばうむ合同会社」を町民46名の出資で設立し、現在に至る。

嶺北地域の森林面積の75%以上を占める人工林(スギ材)を活かす方法として、ばうむ合同会社では主に2つの取り組みを進めている。

① 小中学生向けの学習機のプロデュース及び販売

製作は吉野川リビングに委託する形で販売をばうむ合同会社が行なっている。現在は高知県内の小学校、中学校を中心にPRを行い、今までに高知県の3小中学校の全生徒に机を納品している。今後は環境教育と学習機をセットにした売り方を提案し、嶺北材のPRを推進する。

② レーザー加工による木を使った小物及び企業向けノベルティグッズの作成

木を使った小物では、現在までにコースターやマウスパッドなどを販売している。さらに最近では企業向けのノベルティグッズの作成も行ない、地域材の利用促進の意識を高知県内外の企業にも発信をしている。

3 活動の成果と課題

【成果】

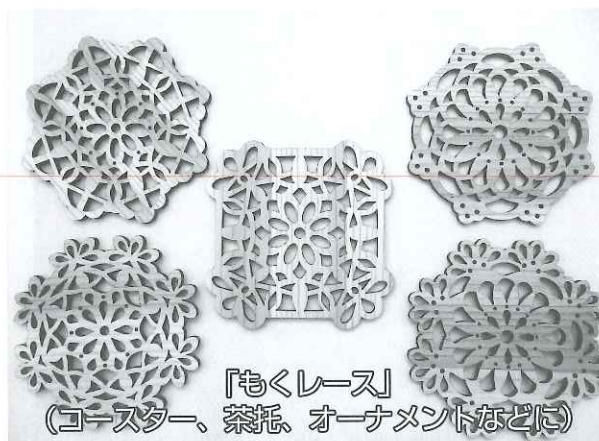
- 小中学校向けの学習機は嶺北内の小中学校を中心に300台ほどを納品している。今後は高知県内及び東京都への販売のために、現在、物流の整備をしている。
- 自社製品であるコースターなどは、現在県内外のショップを中心に2,000個ほどを売り上げている。この部分ではレーザー加工機を利用した新たな商品も企画中である。
- 企業向けのノベルティグッズは現在30社ほどに納品をしている。今年は龍馬伝の関係もあり、高知県から龍馬伝のストラップの受注が3万個ほど入り、特に大きな実績となった。

【課題】

- 機の生産体制の確立の難しさ(塗装の問題や集成材の接着剤の問題など)
- 小さな木工製品を扱っていると、材積では量を使っていないので評価されにくい。材積量のみではなく、木材加工への付加価値を評価してほしい。
- 都市部(東京近郊)へのPRの難しさ、流通形成が大変であること。

4 今後の目標

- 首都圏への学習機の販路拡大
- 一次産業を活用した商品開発数を増やしていく。
- 地域内の雇用を生み出していく。





演題 「久万林業と自分史の中の林業経営」

愛媛県指導林家 梶川 二郎 氏

<梶川二郎氏のプロフィール>

昭和15年8月27日生 久万高原町上野尻在住。

高校卒業後、地元旧久万森林組合（現久万広域森林組合）に就職。

その後、共同出資により、住宅建築・木材販売会社を設立し役員に就任。

現在は、林業経営のかたわら上浮穴林研グループ連絡協議会会長として、地元久万林業発展のため尽力。

研究心が大変旺盛で、疑問に思った点は自ら試験等を行い、その結果を現場に活かすことを身上とする。

平成6年から、クローン樹種による複層林の研究を実施。

大径材、磨丸太、天然絞丸太、海布丸太等の各生産目標に適したスギ、ヒノキのクローンを自ら選抜するとともに、平成10年に、将来の生産目標別に残存木の配置を決定した「クローン樹種による混植造林技術」を開発。

主な受賞歴は次のとおり

平成13年2月15日 愛媛県指導林家 愛媛県知事認定

平成17年11月15日 中国・四国地区緑化功労者表彰

平成18年9月14日 森の名手・名人100人：造林手 国土緑化推進機構理事長認定

平成19年7月31日 農林水産祭参加全国林業経営推奨行事 大日本山林会会長賞

平成20年10月26日 第32回全国育樹祭愛媛県緑化等功労者表彰（林業振興部門）

平成22年10月3日 平成22年度全国育樹活動コンクール個人の部 国土緑化推進機構理事長賞

<講演の要旨>

久万林業の生い立ちと、その中で育ってきた自分と山との出会い、そして自分と山との関わり方について、幼少の頃から現在までを振り返りながら、将来の林業に対する夢について講演する。



分科活動：平成22年10月17日(日)

次の2箇所を発着地として、専用バスで移動します。

- 久万高原町産業文化会館 久万高原町久万188
- 久万公園(久万林業まつり おまつり広場) 久万高原町菅生2番耕地1644-1

①森づくり安全技術・技能研修コース

内容：立木の安全な伐倒作業等について
現地研修します。

- チェーンソーの使い方
- 立木の伐倒手順など

場所：久万高原町菅生内の山林

雨天時：久万広域森林組合本所にて、室内
研修します。



②久万林業まつりフリー見学コース

内容：第40回久万林業まつりの3会場を
見学します。

- おまつり広場(久万公園)
 - 林業資料展
 - 久万高原市・商工まつり
野菜やくだもの、加工品等の販売、
木工品、ふるさと食堂
 - ティンバーハウス展示・即売
ほか
- ざいもく広場
(久万広域森林組合久万事業所)
 - 久万材展示・即売
 - 銘木コーナー
- テクノ広場
(愛媛県林業研究センター)
 - 研究成果、林業技術研修のパネル
展示
 - 林業機械展示
 - スタンプラリー、親子木工
ほか

③久万林業見学コース

内容：木材の生産から加工、利用までの
過程を見学します。

- 育林 人工林
林道トレッキングあり。
片道：約1km、20分
林道を歩きながら、様々な状
態の人工林を見学します。
- 生産 林業機械
(愛媛県林業研究センター)
木材の生産に使う様々な林業
機械・道具を見学します。
- 流通 木材市場
(久万広域森林組合木材市場)
木材がどのように選別され、
市売されるか見学します。
- 加工 製材工場
(久万広域森林組合父野川事業所)
木材がどのような工程を経て
製品となるか見学します。
- 利用 木造施設
(久万美術館)
木材をふんだんに利用した建
物を見学します。美術館の展
示もご覧ください。

バス運行表

8:40 発 久万高原町産業文化会館
8:55 発 久万公園(おまつり広場)
9:00 着 研修地到着(久万高原町菅生)
森づくり安全技術・技能研修
※雨天時 久万広域森林組合本所
11:50 発
11:55 着 久万公園(おまつり広場)
12:05 着 久万高原町産業文化会館
12:15 着 久万公園(おまつり広場)



8:45 発 久万高原町産業文化会館
8:55 着 久万公園(おまつり広場)
おまつり広場自由見学
約90分
10:25 発 ※おまつり広場から参加の方
はここで乗車
10:30 着 ざいもく広場
(久万広域森林組合久万事業所)
ざいもく広場自由見学
約20分
10:50 発
11:00 着 テクノ広場
(愛媛県林業研究センター)
テクノ広場自由見学
約60分
12:00 発
12:10 着 久万高原町産業文化会館
12:20 着 久万公園(おまつり広場)

8:35 発 久万高原町産業文化会館
8:50 発 久万公園(おまつり広場)
9:00 着 林道入り口
育成人工林見学 約50分
※林道トレッキングあり
片道：約1km、約20分
9:50 発
10:00 着 愛媛県林業研究センター
林業機械見学 約30分
10:30 発
10:40 着 木材市場
木材市場見学 約15分
10:55 発
11:05 着 森林組合製材工場
大規模製材工場見学 約30分
11:35 発
11:55 着 久万美術館
木造施設見学 約20分
12:15 発
12:25 着 久万高原町産業文化会館
12:30 着 久万公園(おまつり広場)

四国の森づくりに関する共同宣言

1 趣旨

四国山地を中心として構成される四国の森林は、水源のかん養、国土の保全、自然環境の保全、地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収・固定、人に優しい循環型資源としての木材供給など多面的機能を有し、様々な形で四国の各県民の生活に役立っている。

この森林の有する多面的機能を十分に発揮させるためには、森林整備の実施、木材利用の推進、森林環境教育活動の推進等について、民有林と国有林とが協力して取り組むことが今後、益々重要となっている。

このため、四国4県の豊かな生活環境の実現、森林資源の循環利用等森林の多面的機能の高度発揮の実現に向けて、四国4県と四国森林管理局は、以下のとおり四国の森づくりに関する協力関係を明らかにするものである。

2 取組内容

①多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進

水源のかん養、地球温暖化防止等森林の持つ多面的機能を十分に発揮するため、林業従事者の育成・確保を図りながら、針広混交林化など多面的機能の向上に配慮した森林整備を積極的に推進するとともに、四国の豊かな森林の生態系をより良い形で次の世代に引き継いでいくことに努めることとする。

②木材の利用推進

木材の利用を推進することは、森林の持つ多面的機能の発揮を通じて地球温暖化の防止や資源循環型社会の形成に資するものであり、また、地域の森林で生産された木材を幅広く利用することは、地域の森林の適切な整備と、地域の活性化に資するものである。このため、公共事業等への木材の積極的活用を推進するとともに、新たな利用法の開発など木材利用拡大に向けた取り組みを深め、地域材の安定的需要拡大を図ることとする。

③森林環境教育活動の推進

森林・林業への理解を深めるため、広く四国の県民に対する普及啓発、ボランティアの育成や交流、森林環境教育活動等を積極的に推進することとし、体験学習のフィールドの提供や教育プログラムの共用、情報交換等を推進することとする。

④四国山の日の創設

「四国はひとつ」というスローガンのもと、四国がひとつになって大切な四国の森林を守り育て、四国の各県民の共有財産としての四国の森づくりを推進するため、11月11日を「四国山の日」とする。

平成16年11月14日 ここに宣言する。

徳島県知事

飯泉嘉門

香川県知事

真鍋武紀

愛媛県知事

加戸守行

高知県知事職務代理者
高知県副知事

吉良史子

四国森林管理局長

山根祥生

協賛企業 Special thanks

JForest
愛媛県森林組合連合会

森林の仕事人
久万広域森林組合
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万265番地3
TEL:0892-21-1255 FAX:0892-21-2710

Asahi
ASAHI BEER
洗練されたクリアな味、辛口。
SUPER "DRY"
ビール 飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。アサヒビール株式会社

地域の林業振興は我らの手で！
愛媛県林業研究グループ連絡協議会
〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生二番耕地280-38

愛媛銀行

本店 松山市勝山町2丁目1番地 TEL: (089) 933-1111
ホームページ <http://www.himegin.co.jp/>

松山を
アートに!

MATSUYAMA
1 COIN
ART PROJECT

総合印刷 & web 企画デザインのトータルプロデュース

Heiwa Printing Co., Ltd

平和印刷工業株式会社

愛媛県松山市福音寺町728番地 〒790-0921
Tel. 089-947-9155 Fax. 089-947-9055
<http://www.heiwa.co.jp>

内海造船株式会社

〒791-8042 松山市南吉田町1467番地1
TEL (089) 974-3611 FAX (089) 974-3518
<http://www.naikaitug.co.jp>

カートカン 飲んで育てる日本の森林

株式会社 ポッカコーポレーション

点検で元気いっぱい!! わたしと車

社団法人 愛媛県自動車整備振興会

製材・木工・林業機械・バイオマス機器



大森商機株式会社

本社/〒791-8520 松山市空港通3丁目9番6号
TEL (089) 973-0888 FAX (089) 971-3636

サンシン暖炉 三新機械株式会社

愛媛県松山市南久米町546-1
TEL 089-975-5885 FAX 089-975-5886
HP <http://sansin-kk.com>

チェーンソー 用防護具 グリーンボーイ



株式会社 トーヨー
〒799-1101
愛媛県西条市小松町新屋敷甲2155-1
Tel 0898-72-5444 Fax 0898-72-5443
<http://toyo-ltd.jp/>

愛がある 愛媛ペレット
有限会社 内藤鋼業

愛媛県喜多郡内子町五十崎黒内坊
TEL 0893-44-3063代
FAX 0893-44-3245



山河に豊かな緑を!!
株式会社 ニシイチ

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田677番地1
TEL (089) 957-7181
FAX (089) 957-7192



森と水と働く人と

宇摩森林組合

〒799-0423 愛媛県四国中央市具定町465番地5
TEL (0896) 24-2775 FAX (0896) 24-2776

「市民の緑と水を守る」
いしづち森林組合

〒793-0030 西条市大町1211番地
TEL (0897) 56-0180 FAX (0897) 56-8818

美しい豊かな森林を育てましょう
JForest 越智今治森林組合
今治木材市売場

〒794-0103 愛媛県今治市玉川町法界寺甲114番地1
TEL 0898-55-2001 FAX 0898-55-2901

松山流域森林組合

〒791-0221 愛媛県東温市上村甲685番地1
TEL (089) 964-2011 FAX (089) 964-2115

砥部町森林組合

愛媛県伊予郡砥部町総津1122番地
TEL (089) 969-2006

輝く森を未来へつなごう

伊予森林組合

〒791-3205 愛媛県伊予市中山町丑167番地3
TEL 089-967-0019 FAX 089-967-0045

JForest 西予市森林組合

〒797-1212 愛媛県西予市野村町野村10号466番地2
TEL (0894) 72-0075 FAX (0894) 72-3375

無理せず、ケガせず、頑張らず

森林ボランティア

滑床千年の森をつくる会

松山市平井町1486番地

TEL・FAX 089-975-1434



『四国山の日 in えひめ 2010』 ポスター及びチラシ原画

デザイン 菅野 しおん さん（愛媛県東温市在住）

＜説明＞ 四国は、四県に分かれているといっても、山々はつながっていて、私達に大いなる恵みを与えてくれています。そんな、四国の山々と人々とのハーモニーを描きました。

＜プロフィール＞ 2003年 京都精華大学 芸術学部 版画専攻 卒業
卒業後は、松山市で毎年、その他徳島県、兵庫県などで個展、グループ展を開催

-
- 主催／四国の森づくり実行委員会（四国森林管理局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国の森づくりネットワーク）、えひめ森林ボランティア連絡協議会
- 後援／財愛媛の森林基金、久万高原町、久万広域森林組合、緑の少年団愛媛県連盟、愛媛大学、愛媛県林業研究グループ連絡協議会、愛媛県森林組合連合会、（社）愛媛県木材協会、（社）国土緑化推進機構、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM愛媛
- 協賛企業／愛媛県森林組合連合会、久万広域森林組合、アサヒビール（株）、愛媛県林業研究グループ連絡協議会、（株）愛媛銀行、内海曳船（株）、平和印刷工業（株）、（株）ボッカコーポレーション、（社）愛媛県自動車整備振興会、大森商機（株）、三新機械（株）、（株）トヨ、（有）内藤鋼業、（株）ニシイチ、宇摩森林組合、いしづち森林組合、越智今治森林組合、松山流域森林組合、砥部町森林組合、伊予森林組合、西予市森林組合、滑床千年の森をつくる会（順不同）